

<b>〔科目名〕</b> 仏教の思想	<b>〔単位数〕</b> 4 単位	<b>〔科目区分〕</b> 教養
<b>〔担当者〕</b> 松本知己 Matsumoto Tomomi	<b>〔オフィス・アワー〕</b> 時間:j 授業の前後、休み時間 場所:教室、廊下、非常勤講師控室など。	<b>〔授業の方法〕</b> 講義
<b>〔科目の概要〕</b> <p>           仏教は、紀元前5世紀前後のインドに始まる宗教である。日本への伝来以降、社会の要請に伴って変容しながら独自の発展を遂げ、日本人の精神世界に大きな位置を占めてきた。本講義では、我々にとって「内なる他者」である仏教の思想史的理解を目的として、その基本構造と、展開の多様性を学ぶ。         </p> <p>           前半は、インド仏教の歴史を概観し、仏教的思考の基本について解説する。後半は、仏教文献の漢訳をはじめ、中国人による受容の特質を確認する。その上で、各時代の仏教者の思想と実践を紹介しつつ、日本仏教の形成と展開の過程を明らかにしてゆく。随時、政治状況、文化事象との関連や、神道など他思想との交渉にも言及する。全体を通じて、日本人にとって仏教とは何であったか、そして何でありうるか、ということを理解し、現代に生きる私たちと宗教との関係を考察する契機にしたい。         </p>		
<b>〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつかか〕</b> <p>           本科目は、信仰を前提とせずに、仏教を一つの思想、あるいは文化現象として捉え、その成立と展開を学ぶ。古来より日本文化に溶け込んでいる仏教の思想的側面を理解することは、自身のアイデンティティを確認することにもつながる。         </p> <p>           経済学や経営学を学ぶという点では、経済的な活動は人間の営みに他ならないので、人間に対する理解が必須となる。宗教を含む思想は、人間の精神の基盤をなす。また、世界には様々なタイプの宗教、思想が存在し、人々との関わり方も様々である。日本の伝統的な思想の構造を理解し、歴史を知ることによって、宗教的、思想的背景の異なる人々の思考様式を、より深く理解することができるだろう。         </p>		
<b>〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕</b> <p> <b>最終目標</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仏教思想の基本的な構造を理解する。</li> <li>・ 日本仏教の特質を、現代に生きる我々自身との関連で理解する。</li> </ul> <p> <b>中間目標</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インド・中国・日本における仏教の歴史的な推移を理解する。</li> </ul>		
<b>〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕</b> <p>           後方の席の受講者にも配慮して、できるだけ見やすい大きな文字で板書する。また、期末レポートの題目は、できる限り早めに告知する。         </p> <p>           その他、要望等については柔軟に対応するよう心がける。         </p>		
<b>〔教科書〕</b> <p>           教科書は用いない。毎回資料を配付する。         </p>		
<b>〔指定図書〕</b> 宮元啓一『わかる仏教史』(角川ソフィア文庫、2017) 末木文美土『日本仏教史－思想史としてのアプローチ』(新潮文庫、1996)		
<b>〔参考書〕</b> 平川章『インド・中国・日本 仏教通史』(新版)(春秋社、2006) 袁翰猷編『事典 日本の仏教』(吉川弘文館、2014)		
<b>〔前提科目〕</b> なし。		

**〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)**

3分の2以上の出席を前提に、期末のレポート(60%)と平常点(40%。毎回提出してもらおうリアクションペーパーのコメントなど)によって評価する。

**〔評価の基準及びスケール〕**

- A 80点以上
- B 80点未満～70点以上
- C 70点未満～60点以上
- D 60点未満～50点以上
- F 50点未満

**〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕**

仏教は世界宗教であり、歴史的にも実に多様に展開してきた。しかし思想としての基礎をふまえた上でなければ、その多様性への理解がなかなか進まない。予習は特に求めないが、毎回の講義後は、指定図書や随時紹介する参考文献を読んで、復習する時間を作ってもらいたい。

**〔実務経歴〕**

該当なし。

**授業スケジュール**

第1回	テーマ(何を学ぶか): 総説 内 容: 授業の概要、学習方法、評価基準などの説明  教科書・指定図書
第2回	テーマ(何を学ぶか): 宗教類型論から見た仏教 内 容: 仏教、あるいはインドの宗教・思想と、世界の諸宗教との比較  教科書・指定図書
第3回	テーマ(何を学ぶか): インドの宗教・思想① 内 容: インド宗教思想史の概観(その一)  教科書・指定図書
第4回	テーマ(何を学ぶか): インドの宗教・思想② 内 容: インド宗教思想史の概観(その二)  教科書・指定図書
第5回	テーマ(何を学ぶか): 初期仏教 内 容: 釈迦(ゴータマ・シッダールタ)の生涯と仏教の成立  教科書・指定図書 宮元啓一『わかる仏教史』第I章
第6回	テーマ(何を学ぶか): 仏教思想の基礎① 内 容: 真理観(仏教は何を目指すのか)  教科書・指定図書

第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): 仏教思想の基礎② 内 容: 仏教者の集団(教団)と規則(戒律)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか): 仏教思想の基礎③ 内 容: 仏教者が行う実践</p> <p>教科書・指定図書</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか): 部派仏教 内 容: 釈迦死後の教団分裂と、諸部派の成立と展開</p> <p>教科書・指定図書 宮元啓一『わかる仏教史』第Ⅲ章</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか): 部派仏教の思想 内 容: 部派仏教の中でも最も有力な説一切有部の存在論</p> <p>教科書・指定図書 宮元啓一『わかる仏教史』第Ⅲ章</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか): 大乘仏教の成立と発展 内 容: 既存の諸部派を批判しつつ興隆した「思想運動」としての大乘仏教</p> <p>教科書・指定図書 宮元啓一『わかる仏教史』第Ⅳ章</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか): 大乘仏教の思想① 内 容: 大乘仏教経典の特徴</p> <p>教科書・指定図書 宮元啓一『わかる仏教史』第Ⅳ章</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか): 大乘仏教の思想② 内 容: 大乘仏教の哲学的基盤となった「空」の思想</p> <p>教科書・指定図書 宮元啓一『わかる仏教史』第Ⅳ章</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか): 大乘仏教の思想③ 内 容: 『般若心経』を読む</p> <p>教科書・指定図書</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか): 大乘仏教の思想④ 内 容: 「空」の理論化、体系化を目指した唯識思想(その一)</p> <p>教科書・指定図書 宮元啓一『わかる仏教史』第Ⅳ章</p>
第16回	<p>テーマ(何を学ぶか): 大乘仏教の思想⑤ 内 容: 「空」の理論化、体系化を目指した唯識思想(その二)</p> <p>教科書・指定図書 宮元啓一『わかる仏教史』第Ⅳ章</p>
第17回	<p>テーマ(何を学ぶか): 大乘仏教の思想⑥ 内 容: 浄土教の成立と変容</p> <p>教科書・指定図書</p>
第18回	<p>テーマ(何を学ぶか): 大乘仏教の思想⑦ 内 容: 密教の思想と実践、あるいは仏教と現世利益</p> <p>教科書・指定図書 宮元啓一『わかる仏教史』第Ⅳ章</p>
第19回	<p>テーマ(何を学ぶか): 中国人と仏教 内 容: 儒教をはじめとする中国の思想・宗教と仏教の関係</p> <p>教科書・指定図書</p>

第20回	<p>テーマ(何を学ぶか): 中国仏教の特徴 内 容: 中国人による仏教の受容と独自の解釈、体系化など</p> <p>教科書・指定図書</p>
第21回	<p>テーマ(何を学ぶか): 最澄の思想 内 容: 中世以降の日本仏教の母胎となった日本天台の教学</p> <p>教科書・指定図書</p>
第22回	<p>テーマ(何を学ぶか): 日本の密教 内 容: 空界の真言密教(東密)と天台の密教(台密)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第23回	<p>テーマ(何を学ぶか): 鎌倉新仏教の思想① 内 容: 法然の専修念仏(浄土宗)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第24回	<p>テーマ(何を学ぶか): 鎌倉新仏教の思想② 内 容: 法然の門流と親鸞の思想(浄土宗、浄土真宗)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第25回	<p>テーマ(何を学ぶか): 鎌倉新仏教の思想③ 内 容: 日本の浄土教における二つの流れ(観念・観想の念仏と称名念仏)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第26回	<p>テーマ(何を学ぶか): 鎌倉新仏教の思想④ 内 容: 日蓮の法華教学(唱題思想)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第27回	<p>テーマ(何を学ぶか): 鎌倉新仏教の思想⑤ 内 容: 禅とは何か</p> <p>教科書・指定図書</p>
第28回	<p>テーマ(何を学ぶか): 鎌倉新仏教の思想⑥ 内 容: 道元(曹洞宗)と栄西(臨済宗)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第29回	<p>テーマ(何を学ぶか): 近代の知識人と仏教 内 容: 田中智学の日蓮主義と石原莞爾、宮沢賢治</p> <p>教科書・指定図書</p>
第30回	<p>テーマ(何を学ぶか): 全体のまとめ 内 容: 講義の総括、日本仏教の特徴、日本人と宗教</p> <p>教科書・指定図書</p>
試験	<p>期末レポートの提出。試験は実施しない。</p>